

令和7年3月17日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課
課長 小川 智瑞子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

「みんなのつどい場」報告書

1 日 時：4/21 5/18 6/16 7/21 7/23 8/18 9/15 10/13 11/17 12/15
1/19 2/16 3/16

2 会 場：リードあしや オープンスペース1 他

3 担 当：橋野 出口

4 参加者：延べ237人

5 事業詳細

(1) 目 的：芦屋に住んでいる人、働いている人、学んでいる人、活動している人、芦屋に関わっている人たちが集まり、自分のことを語る、日常を語る、だれかとつながる、みんなの話を聞く、みんなでワイワイできる居場所づくりを目的とする。

(2) 内 容：ちょいナビは「たかさん」、グラレコは「なみさん」による運営で月1回の場づくり。12月は参加者と協働運営でスペシャル版を実施。

6 参加者の感想

・ゆるくなんでも話ができるホッコリする場です。

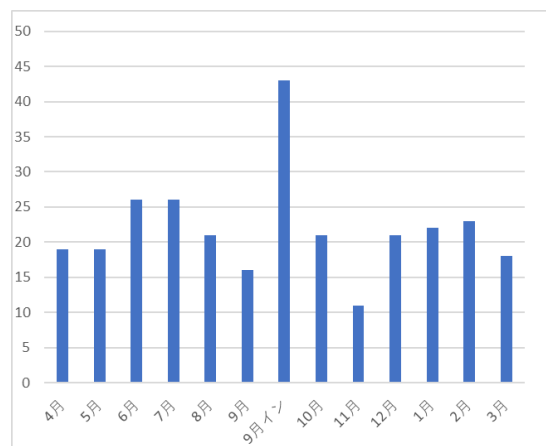
・初めての参加でしたが、皆さん活発に話されていて、そのムードをつつ食っている参加者の方々の意識とたかさんのゆるい進行のおかげかなと思いました。

・とても話し合いやすかったです。自分が出した意見につなげて話をしてくれる方が多く「こんな意見もあるんだ」という発見もたくさんありました。10代からと大人からでは視点が違うので、同じことでも感じ方や受取かたが違い深められました。

・色々な世代の人たちが集まり、思いや考えを聞きあうことができました。どの人の意見も「そうかも」と共感できる内容がありました。(少し聞くこと違うかなと感じる話でも、じっくり聞くと「うんうん」と思えました。

・大人の人と話す機会や自分の意見を話す機会がなかなかなかったけれど、今回話してみて改めて自分がなにを考えているか知ることができたし、自分の意見を大事にしたいなと思いました。

他 多数



7 振り返り

- ・令和6年度は3回場所を変え、会場に合わせたテーマを決めて開催した。うちぶん（芦屋の10代！地元どうよ）、あしふく（アンダー23と未来を語ろう）、芦屋市美術博物館（私の芦屋コレクションを創ろう）。参加者の意見としては「たまに環境を変えるのは良い」と好評だった。
- ・令和5年度の「市民のつどい場」の提案が、令和6年度「みんなのつどい場インターナショナルデー」として実現された。日本も含め5カ国40数名の参加があり、次の開催を期待されている状況であった。提案が実現できる場があることが参加の意欲につながると確信した。
- ・グラフィックレコーディングを担当してくださるナミさんに講師を担っていただいた「グラレコセミナー」受講者の実践の場として「みんなのつどい場」を提供いただいた。受講生は中学生から20代の若者。その後、「ナミさんグラレコ隊」としてみんなのつどい場で活動していただいている。全員が揃うことはないが、交代で活動し、技術は確実に上がっている。学びから実践までの提供をすることで活動の和が広がり、次への飛躍も期待できることが実証された。

以上

